

## 卒業論文の作成と提出

宇陀則彦

## 卒業論文の提出

2	
12/25(水) 9:00~16:00(7B219)	印刷版の論文と抄録を提出 論文公表猶予を希望する者は「公開猶予申請書」を提出
12/25(水)9:00~12/26(木)17:00	PDF版の論文と抄録をサーバにアップロード PDF版をアップロードしない者は不合格
1/8(水)	最終発表会 主専攻教員と協力教員による合否判定 不合格の場合は再審査
1/8(水)~2/12(水)	再審査期間 印刷体の論文を含めて審査
1/8(水)~2/12(水)	論文・抄録の修正期間 PDF版を何度でもアップロード可 2/12が最終版
3月中旬	抄録はインターネットで公開 論文は図書館情報学図書館のみで閲覧
3/25(火)	卒業式 抄録集(印刷体)を配布

## 卒業論文に必要なこと

- 卒業論文の書式
- 抄録テンプレート(Word)のダウンロード
- PDF版のアップロード方法
- 「公開猶予申請書」のダウンロード
- これらは全て知識情報・図書館学類Webサイトの「学生支援情報」ページにある。
- [http://klis.tsukuba.ac.jp/school\\_affairs.html](http://klis.tsukuba.ac.jp/school_affairs.html)

## 卒業研究の評価(合否判定)

- 第1段階:発表会
  - 発表のみに対する評価(論文は審査しない)
  - 【優れている】【十分】【不十分】
  - 評価基準は[仕事][課題][手法][結果][論理]の5つ
  - 指導教員が【不十分】とつけたら再審査
  - 主専攻教員および協力教員の3人以上が【不十分】とつけたら再審査(指導教員が【十分】とつけたとしても)
- 第2段階:再審査(第1段階で不合格となった者)
  - 指導教員、不十分判定をした教員、それ以外の教員
  - 論文を含めて審査(判断基準は第1段階と同じ)

## 卒業研究の評価(成績)

- 合否判定で合格となった者
- 指導教員がA,B,Cをつける。(Dはつかない)
- 論文、最終発表、1年間の研究過程、(再審査を経た場合はそのときの評価)を総合的に評価
- 以上が正規の評価だが、これとは別に指導教員が主専攻教員に論文の査読を依頼することがある。この場合、学生は論文を必ず修正しなければならない。

## 成果の公表

- 卒業論文は学生自身の成果であると同時に、指導教員や学類の成果でもある。
- これらを学類として保存し、公表することは学類の理念の実践であり、社会的な義務でもある。
- 抄録はインターネットで公開(制限なし)
- 論文は図書館情報学図書館で限定公開
  - 後輩が参考にできるようにすることが大きな目的
  - 外部からも読みたいという要求が時々ある。
  - 学術論文、あるいは特許申請の場合は公開猶予可
    - 標準1年、最大5年

## 卒業論文の作成

7

- 研究題目、目次、本文、謝辞、参考文献、付録
- 研究題目のつけかた:よい題目、悪い題目
  - ×～について
  - ×～の研究
  - 冗長。同じ文字数でより内容を説明するものを
  - 英訳してみよう。素直に英訳できればよし。
- 抄録、はじめに、おわりにの違い
  - 抄録は目的、手法、結果、考察、結論を全て書く
  - 「はじめに」には目的(背景含む)を書く
  - 「おわりに」には結論を書く

## 卒業論文の作成

8

- 目次(章構成)
  - 章の名前は中身を適切に表すものに。「システム」とか「調査手法」とかはよろしくない。
  - 節に分解しすぎないこと
- 謝辞は書こう
- 本文にするか付録にするか
- 参考文献
  - SISTO2を推奨
  - 少なくとも書き方は統一すること

## 卒業論文の作成

9

- 本文
  - 日本語または英語
  - ちゃんとした日本語を書け
    - 少なくとも日本語の文法に従え
    - 機械的にチェックできること
      - 主語と述語の対応
        - 途中の修飾語を抜いてみる
        - 省略されている主語を補ってみる
      - 「～することができる」→「～できる」
      - てにをは
      - 接続詞は適切か
      - 段落が短すぎないか。1文しかない段落がある
  - 中身
    - 作業報告にならないこと(こうして、ああして、こうしましたはダメ)

## 心得

10

- 長い文章を書くのは初めての経験であることを十分認識すること
- 卒業論文は「レポートの大きなもの」ではない
- 予想している10倍以上の時間がかかる
  - と毎年言っているのだが、なぜか信じない。
  - その結果、「もっと早く書けばよかった～」と叫ぶ。その割合、実に99.9%
- さようなら～